

令和5年9月10日
今週のベストショット



奈多グラウンド 雁の巣ライナーズ 対 新町ウィンズ戦
六回裏、雁の巣ライナーズ三番 久保田選手のドデカイ満塁HRが飛び出す！
写真：奈多フェニックス 実延 彰洋

青松園B ジャガーズ打線爆発でソルトベ이스ターズを粉砕！！

ソルトベ이스ターズ（2勝4敗2分）20010 3 酒井●、中村ー山川
塩浜ジャガーズ （2勝6敗）35010× 18 立石○ー竹尾

HR：石松、衛藤（塩浜ジ） 2BH：中村（ソルト） 盗塁：吉田2、中村（ソルト）

一回表ソルトベ이스ターズは、先頭の吉田選手が死球で出塁し、すぐさま盗塁を成功させる。続く二番野口選手がショート内野安打を打ち、相手のミスも重なり先良く先制。その後も1点追加する。先制されたその裏塩浜ジャガーズは、二番石松選手のセンターオーバーのランニングHRで1点を返す。更に三番三船選手も華麗なレフト前ヒットで出塁すると、四番衛藤選手が左中間フェンスを超える逆転2ランHRを放つ。二回裏ジャガーズは、四球と八番福富選手のセンター前で満塁とすると、一番内田選手のセンターへの犠飛で追加点。その後再び満塁として三番三船選手のセンター前、五番立石選手のレフト前タイムリーヒットでこの回5点を追加。四回表追いつきたいソルトベ이스ターズは、相手のミスと七番荒屋選手のヒットでチャンスを作ると、九番中村選手のセンター前タイムリーで1点を返す。更に追加点が欲しいところであったが、立石投手が粘りのピッチングを見せ後続を断つ。その流れのままその裏ジャガーズは、ヒットと四球で酒井投手をノックアウトすると、二番手の中村投手もジャガーズ打線を止めることができず、この回10点を取り試合を決定付ける。五回表ソルトも粘りを見せ1点を返すも前の回の失点が響き試合終了。打線爆発のジャガーズが大勝を収めた。

（記事・写真：奈多サンデーズ 野崎 隼介）



一回裏、ジャガーズ二番石松選手が反撃のHRを放つ。



逆転2ランのジャガーズ四番衛藤選手を出迎えるベンチ。



力投するソルトベスターズ酒井投手。



二回裏、ジャガーズ内田選手の犠飛で生還する佐藤選手。



二回裏、2点タイムリーを放つ三番立石選手。



四回裏、タイムリーヒットを放つ八番福富選手。



四回表、タイムリーヒットを放つ中村選手。



四回裏、大リーグボール1号?! (ファール)

奈多グラウンド 雁の巣ライナーズが圧倒する

雁の巣ライナーズ（4勝4敗） 0 4 3 1 3 4 1 5 ○柴田一有村

新町ウィンズ （3勝5敗） 2 0 0 0 0 1 3 ●桐島一今林

HR：明瀬、久保田（雁の巣） 2BH：今林（新町ウ）、久保田、正内（雁の巣）

盗塁：明瀬2、井手（雁の巣）

先攻雁の巣ライナーズ、後攻新町ウィンズで試合開始。一回表を無失点で凌いだウィンズはその裏、二死から三番今林選手の三塁線を破る二塁打を皮切りに柴田選手、花田選手、町田選手の四連打で2点を先制した。しかしライナーズは二回表すぐに、九番上村選手、二番有村選手、四番宇野選手のタイムリーなどで一気に逆転に成功する。勢いそのままに三回表、七番井出選手のセンター前、九番上村選手の死球から一番明瀬選手の3ランHRで3点を追加すると、四回表にも三番久保田選手の二塁打から五番正内選手のタイムリーで1点を追加して突き放していく。五回表、二死から二番有村選手のライト前、エラー、四番宇野選手のレフト前、五番庄内選手の二塁打で3得点すると、六回には3四球から四番久保田選手の特大的満塁HRが飛び出して勝負を決めた。

（記事：奈多フェニックス 山本 健一、写真：実延 彰洋）



試合開始。



一回裏、三塁線を抜く二塁打を放つウィンズ三番今林選手。



チェンジアップで三振を取るライナーズ柴田投手。



五回表、三盗をきめるライナーズ明瀬選手。



六回表、豪快な満塁ホームランを放つ久保田選手。



ホームランを打った久保田選手（左）と明瀬選手（右）。

青松園A ホーネッツが自慢の打力で逆転優勝へ望みをつなぐ1勝をもぎ取る！

三苦ホーネッツ（7勝2敗） 2 1 2 5 0 0 1 0 平川○、矢野一広木

奈多クラブ （1勝9敗） 1 0 0 1 1 0 3 吉田●、西宮、吉田一安河内

HR：堺、稲葉、平川（三苦ホ）今林（亮）（奈多ク） 2BH：広木、今田2（三苦ホ）

盗塁：只松（三苦ホ）

9月に入り、朝晩が少し涼しくなりソフトボールをするには気持ちのよい天候の中でプレボール。先攻の三苦ホーネッツは現在2敗と逆転優勝には負けられない一戦。一回表ホーネッツは、二番只松選手がヒットで出塁するとすかさず盗塁を決め、三番矢野選手のライトフライでタッチアップ。ライトからの返球が乱れる間にホームに返りあつという間に1点先制。その後四球で出たランナーを五番今田選手の左中間二塁打で返して初回2得点。一回裏の奈多クラブは一番、二番と簡単に打ち取られるが、まだ制球の定まらない平川投手を攻め三連続四死球で満塁とすると、六番西宮選手のフルスイングバントヒットで1点を返す。二回表ホーネッツは、平川選手が左中間HRで自らを援護する。三回表奈多クラブは西宮投手に継投する。しかしホーネッツ先頭の矢野選手に四球を与えると、四番堺選手が快足を飛ばして左中間を破る2ランHR。攻撃の手を緩めないホーネッツは、四回表にも堺選手のタイムリーや途中出場の稲葉選手のHRなどで5点を追加する。反撃したい奈多クラブも四回裏に今林（俊）選手のタイムリーで1点を返すと、五回裏にはこの回からリリーフしたホーネッツ矢野投手から四番今林（亮）選手が追い込まれながらもファールで粘り最後はレフトオーバーHRで今林選手に軍配が上がる。この日一番見応えのある対決だったように思える。五回表から奈多クラブは、先発した吉田投手がマウンドに戻ると、強力ホーネッツ打線を2イニング無失点に抑える好投を見せたが、序盤のリードを守ったホーネッツが勝利をもぎ取った。ホーネッツは試合前の円陣で朝川監督からの「絶対負けられんぞ！」の檄が飛び、少し緊張した試合運びに見えたが、さすがの総合力を感じた。一方、奈多クラブも今林（祐）監督を中心に仲間をイジリながらチームを盛り上げ、それに応えるように選手も良く声が出ておりチームの結束を感じる一戦だった。来年に期待！

（記事：和白新町パイレーツ 白岩 将義、写真：今村 慎太郎）



ホーネットス先発の平川投手。



先発&リリーの納屋クラブ吉田投手。



ホーネットス抑えの矢野投手。



奈多クラブ二番手の西宮投手。



一回裏二死満塁で、奈多クラブ西宮選手のフルスイングバントでタイムリーヒット！



ホーネットスのスピードスター只松選手。



二回表、自らを援護するホームランの平川選手。



四回表、ホームランへ激走のホーネットス稲葉選手。



五回裏、好勝負を制しHR奈多クラブ四番今林（亮）選手。